学校番号	3035

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	『世界史探究』（実教出版） 『最新世界史図説タペストリー 二十二訂版』　（帝国書院） 『ウィニングコンパス　世界史の整理と演習２０２４』　（東京法令出版） 『2027 実戦攻略 歴史総合，世界史探究 大学入学共通テスト問題集』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持とう。
・世界史を大きな枠組みで捉え、各地域を比較しよう
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の世界や日本の在り方を考えよう。
・問題演習を通じて、予習復習のサイクルを確立させ歴史的思考力を高めよう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

第二次世界大戦後の歴史および諸地域の文化に関する歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

第二次世界大戦後の歴史および諸地域の文化に関する歴史についての展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用したり、問題演習を通じて、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想を効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

第二次世界大戦後の歴史および諸地域の文化に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用したり、問題演習を通じて、多面的・多角的に考察したり、問いを表現したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地球世界の課題	・戦後の国際秩序と冷戦 ・冷戦の展開と平和の模索 ・グローバル化する国際経済とその課題 ・情報と科学技術によって結びつく世界 ・地球世界の課題の探究 ・問題演習	a：戦後の国際秩序と冷戦、冷戦の展開と平和の模索・グローバル化する国際経済・情報と科学技術およびこれらに関連する地球規模の課題について理解すると共に、諸資料から地球世界の課題に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 b：戦後の国際秩序と冷戦、冷戦の展開と平和の模索・グローバル化する国際経済・情報と科学技術およびこれらに関連する地球規模の課題に関連して設定された主題について、相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、問いを表現したり、概念を用いたり、問題演習を通じて、多角的に考察し説明・議論している。 c：戦後の国際秩序と冷戦、冷戦の展開と平和の模索・グローバル化する国際経済・情報と科学技術およびこれらに関連する地球規模の課題について、大きな枠組みを意識しながら主体的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート

後期	諸地域の文化的特質	・古代文明の文化的特質 ・東アジアと中央ユーラシアの文化的特質 ・南アジアと東南アジアの文化的特質 ・西アジアと地中海周辺の文化的特質 ・成熟したアジア諸地域の文化的特質 ・近世ヨーロッパの文化的特質 ・近現代のおける諸地域の文化的特質 ・問題演習	a:古代文明の文化的特質、東アジアと中央ユーラシアの文化的特質、南アジアと東南アジアの文化的特質、西アジアと地中海周辺の文化的特質、成熟したアジア諸地域の文化的特質、近世ヨーロッパの文化的特質、近現代のおける諸地域の文化的特質について理解すると共に、これらの課題に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 b:古代文明の文化的特質、東アジアと中央ユーラシアの文化的特質、南アジアと東南アジアの文化的特質、西アジアと地中海周辺の文化的特質、成熟したアジア諸地域の文化的特質、近世ヨーロッパの文化的特質、近現代のおける諸地域の文化的特質に関連して設定された主題について、相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、問いを表現したり、概念を用いたり、問題演習を通じて、して多角的に考察し説明・議論している。 c: 古代文明の文化的特質、東アジアと中央ユーラシアの文化的特質、南アジアと東南アジアの文化的特質、西アジアと地中海周辺の文化的特質、成熟したアジア諸地域の文化的特質、近世ヨーロッパの文化的特質、近現代のおける諸地域の文化的特質について、大きな枠組みを意識し主体的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度